

平成18年2月22日

物流連ニュースリリース

### 第3回 労働力問題研究会を開催

(社)日本物流団体連合会(物流連)は、平成18年2月21日(火)14:00から霞が関 霞山会館において第3回労働力問題研究会を開催した。

この研究会は経営問題委員会(委員長:株式会社日立物流 福士英二相談役)の本年度におけるふたつの研究会活動の内のひとつであり、先に終了したM&A研究会に引き続き、開催されているものである。

今回のテーマは「定年延長をめぐる企業の対応」と題し、まず、コーディネーターを務める豊橋創造大学経営情報学部経営情報学科長 石田 宏之教授より概略説明があり、その後、当連合会会員企業である株式会社グッドウィルのグループ企業であるヒュー・マネジメント・ジャパン株式会社 法人本部 法人第二部 和久文彦部長より約1時間説明があった。同社は特にシニア層を対象にした人材コンサルティング、転職・転進支援サービスを行っており、具体的な事例を交えた詳細な説明が行われた。

その後、出席した各委員を交えた質疑応答、各社、各団体の具体的な問題点の抽出が行われた。

出席した全ての委員から発言があり、本年4月施行の「65歳までの定年の引上げ、継続雇用制度の導入等の義務化」を控え活発な意見が交わされた。参加者からは、業種によっては、来年度以降大量の対象年齢該当者を抱え、切実な問題であることなどが説明された。

今回は、3月22日開催を予定しており、これまで話し合われた内容に基づき問題点の整理、業界の現状、対策等の提示を行い会員各社の参考に供する予定である。

以上

(連絡先) 03-3593-0139  
担当 千葉、西城